

生産者向け公募説明会資料

令和8年度生産力強化に向けた稲作経営モデル確立支援事業のうち
稲作の超低コスト生産確立事業のうち新技術現地検証タイプ

令和8年6月11日

プライマル株式会社

Primal

《 目次 》

1. 事業の背景・位置づけ	P. 02
2. 事業の趣旨・目的と対象技術	P. 03 – P. 04
3. 生産者の要件（応募要件）	P. 05
4. 取組の内容（生産者の協力事項）	P. 06
5. 記録・提出を求めるデータ項目	P. 07
6. アグリノートの操作イメージ	P. 08 – P. 12
7. 取組費の支払いについて	P. 13 – P. 14
8. 応募方法・スケジュール	P. 15
9. 選定方法・注意事項・問合せ先	P. 16
10. よくあるご質問・FAQ	P. 17 – P. 23

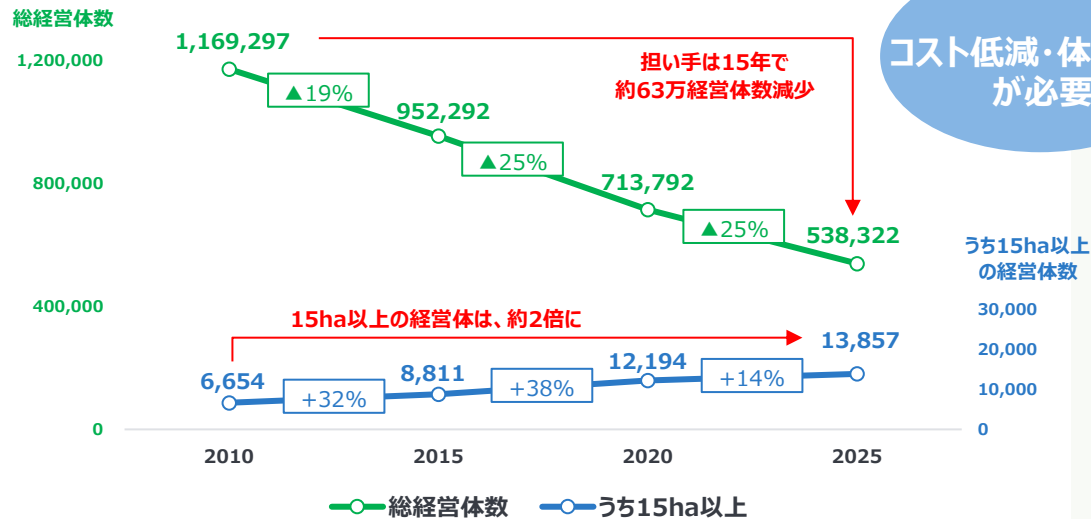
1. 事業の背景・位置づけ

事業の位置づけ

- 担い手の大幅な減少が見込まれる中で、農業者の所得確保をはじめ、稲作農業の体質強化を図っていくことが重要。
- 米の生産コスト低減に向け、普及段階にある技術の活用等を進めるとともに、**革新的な技術については、まずその効果の検証を行うことが必要。**

稲作経営を取り巻く構造変化

担い手が減少する中で、作付面積の大きい農業者が増加



出典:農林水産省「農林業センサス 販売目的の水稲作付面積規模別経営体数」各年次データより作成

政策目標

生産コストの低減 (15ha以上の経営体)



本事業で行う内容

革新的な技術の効果検証



節水型乾田直播



再生二期作

2. 事業の趣旨・目的と対象技術

事業の趣旨・目的

- 本事業は、革新的な栽培技術を用いて食用に供する目的で水稻栽培を行う生産者を募集します。
- その取組データ等（経営・栽培データ等）を収集・分析し、**技術の経営効果及び技術効果を検証**することを目的とします。



革新的な技術の「生産コスト低減効果」、「収量に及ぼす要因」などをデータで検証します。

検証の対象となる2つの技術

技術 1

節水型乾田直播

乾田状態で播種を行い、苗立ち後は、通常のたん水管理とは異なり、**灌漑水の使用量を大幅に抑える**水稻栽培技術。

技術 2

再生二期作

一期作目の収穫後の切株から生える「**ひこばえ（再生芽）**」を活用し、**一度の田植えで二期作を行う**水稻栽培技術。

2. 事業の趣旨・目的と対象技術（技術詳細）

対象技術①：節水型乾田直播



乾いた田んぼに、直接タネを播きます

どんな技術？

たん水可能な水田において、**乾田状態で播種を行う乾田直播栽培**のうち、苗立後に移植と同様にたん水管理する栽培方式とは異なる、**灌漑水の使用量を大幅に抑える**水稻栽培技術。

通常の乾田直播

乾田に播種 → 苗立後は移植と同様にたん水管理

節水型乾田直播

乾田に播種 → 苗立後もたん水管理を抑え節水

対象技術②：再生二期作



切株から再生する「ひこばえ」を活用します

どんな技術？

たん水可能な水田において、移植栽培した一期作目の水稻収穫後の切株から生えてくる「**ひこばえ（再生して出てくる芽）**」を活用することで、**二度目の田植えをせずに二期作を行う**水稻栽培技術。

STEP 1
一期作目
移植・収穫

STEP 2
切株から
ひこばえ発生

STEP 3
ひこばえ
生育管理

STEP 4
二期作目
収穫

3. 生産者の要件（応募要件）

満たすべき6つの応募要件

- ✔ 対象技術を用いて、**1枚あたり10a以上**のほ場で食用に供する目的で水稻栽培を行うこと。※他補助金等との重複不可。
- ✔ 必要なデータを**栽培開始時点まで遡って記録**し、指定された期日までに提出できること。
- ✔ データ等が事業関係者である第三者へ提供されること、**知的財産権は生産者に帰属しない**ことに同意すること。
- ✔ 採択後、**水稻生産実施計画書（令和7年産及び令和8年産）を提出**すること。※難しい場合は代替書類でも可。
- ✔ **環境関係法令を遵守**し、みどりの食料システム戦略に基づき、環境負荷低減に努めること。
- ✔ 暴力団員等の反社会的勢力に該当しないこと。

応募方法

応募フォームの入力

WEBページに掲載している「**応募フォーム**」から必要事項を入力して申請します。

→ 詳細は後ほど（P.15）、ご説明します。

4. 取組の内容（生産者の協力事項）

📌 実施いただく5つの協力事項

1

対象技術による水稻栽培の実施

応募ほ場において、対象技術（節水型乾田直播または再生二期作）を用いて食用に供する目的で水稻栽培を行う。

2

データの記録と提出

営農記録ツール（アグリノート）に、栽培開始時点までさかのぼってデータを記録・提出する。

3

サンプルの提供

検証ほ場の**土壌（500g程度）**および収穫した**玄米（1～5kg程度）**を収集し、所定の場所へ送付する。

4

ヒアリング調査等への協力

メール、電話、WEB、ほ場訪問等による、営農に関するヒアリング調査に協力する。

5

比較ほ場について

慣行ほ場がある場合は、当該ほ場（10a以上）1枚分についても**上記の対象**とする。
また、節水型乾田直播に取り組む者で**通常の乾田直播**も行っている場合は、当該ほ場（10a以上）1枚分についても、**上記の対象**とする。

5. 記録・提出を求めるデータ項目

主な提出データ項目（例）

大区分	小区分	項目（例）
基本項目 （開始時に記録）	経営体名等	経営体名、世帯員数と農業就業者数、認定農業者の状況
	作付品目・面積	作付品目、経営耕地面積と各品目の作付面積
	水稻の作型区分	水稻の作型区分（慣行、たん水直播、乾田直播、節水型乾田直播、再生二期作）、水稻作付品種、水稻の各作型区分の面積、水稻作付ほ場規模別枚数及び面積
	田・ほ場	田の団地数及び区画整理済み面積割合、ほ場間の距離及び団地への平均距離、対象ほ場面積、ほ場所在地
	土壌条件等	土壌条件、本暗渠の有無、水持ちの程度、当該ほ場の前作
	収量・用途	直近5か年の10a当たり収量、栽培する米の用途、目標収量
栽培期間の記録項目 （作業実施時及び所定時に記録）	生育・栽培記録	出芽揃日/出穂期/成熟期/苗立ち・生育状況・倒伏程度・雑草群落の草高・刈取高さ等、播種時の種子状態
	作業記録	作業日、作業内容詳細、作業対象面積、従事者ごとの作業時間、作業者区分（家族・雇用・役員・外注）
	資材・動力	種苗：種類・名/数量/単価/合計金額、肥料：種類・名/数量/単価/合計金額、農業薬剤：種類・名/数量/単価/合計金額、光熱動力：種類・名/数量/単価/合計金額、その他の諸材料：種類・名/数量/単価/合計金額
	料金・負担	賃借料及び料金：種類・名/数量/単価/合計金額、物件税及び公課諸負担：種類・名/数量/単価/合計金額、土地改良及び水利：種類・名/数量/単価/合計金額、借入金及び支払利子：種類・名/数量/単価/合計金額
	所有状況・費用等	建物及び構築物の所有状況：種類・名/数量/単価/合計金額、自動車の所有状況：種類・名/数量/単価/合計金額、農業機械の所有状況：種類・名/数量/単価/合計金額、農具の購入費・生産管理関係の費用等：種類・名/数量/単価/合計金額、土地の面積及び地代：種類・名/数量/単価/合計金額
	労働・特記事項	労働：種類・名/数量/単価/合計金額（直接労働・間接労働／家族・雇用）、直近の特記事項（高温、低温、台風、病害虫、鳥害等）
収穫後の記録項目 （作業実施時及び所定時に記録）	収量・計測方法	全刈り籾重量（乾燥後）・計測方法、全刈り玄米収量・計測方法
	出荷・販売	収穫物の出荷・販売：種類・販売先・量・単価・売上金額（主産物/副産物別）
	特記事項・振り返り	直近の特記事項（収穫遅延等の有無等）、全体を通しての作柄概況・被害状況等、今年気付いた点・反省・来年への課題

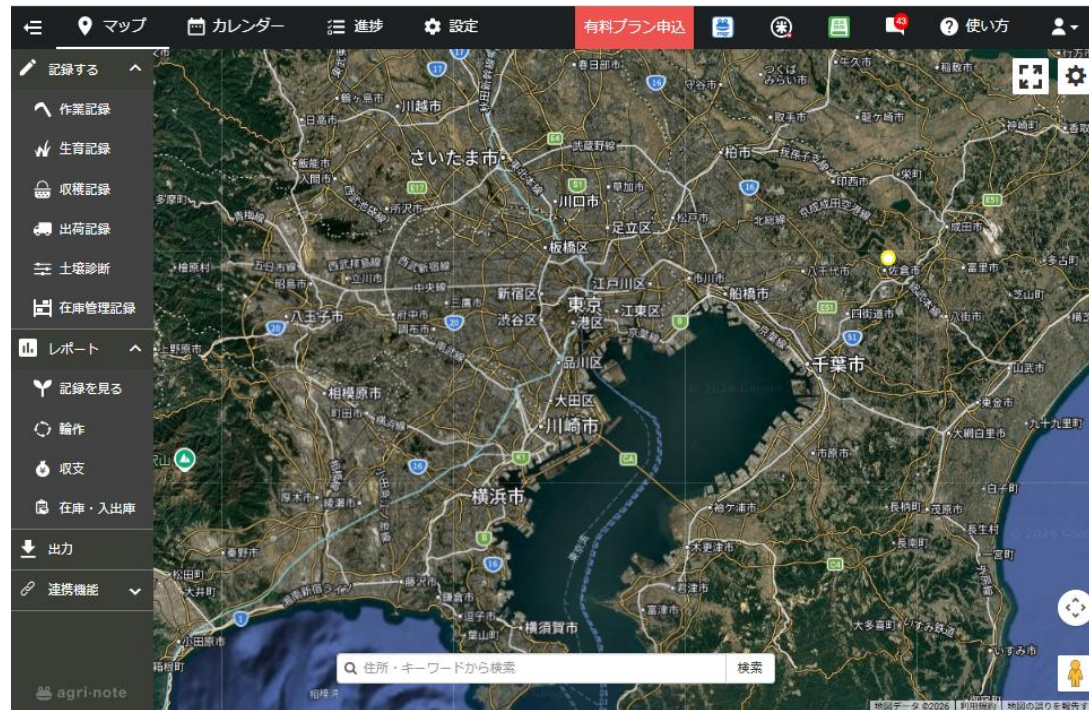
注意事項

- ① 営農記録ツール（アグリノート等）を活用し、ほ場ごとに記録する必要があります。採択後は 栽培開始時点までさかのぼって 記録が必要です。
- ② 再生二期作の場合、一期作目については全項目を記載し、二期作目については事業実施主体において指定する項目の記録が必要となります。
- ③ データ取得のため、土壌水分センサー等の設置を依頼することがあります。
- ④ 関連書類（記録データの控え）は、事業終了後5年間保管をお願いします。

6. アグリノートの操作イメージ（ブラウザ・アプリについて）

アグリノートは、ブラウザ版で初期設定やデータ確認を行い、アプリ版で日々の作業記録をするなどの使い方が基本です。

ブラウザ版（PC）



アプリ版（スマートフォン）

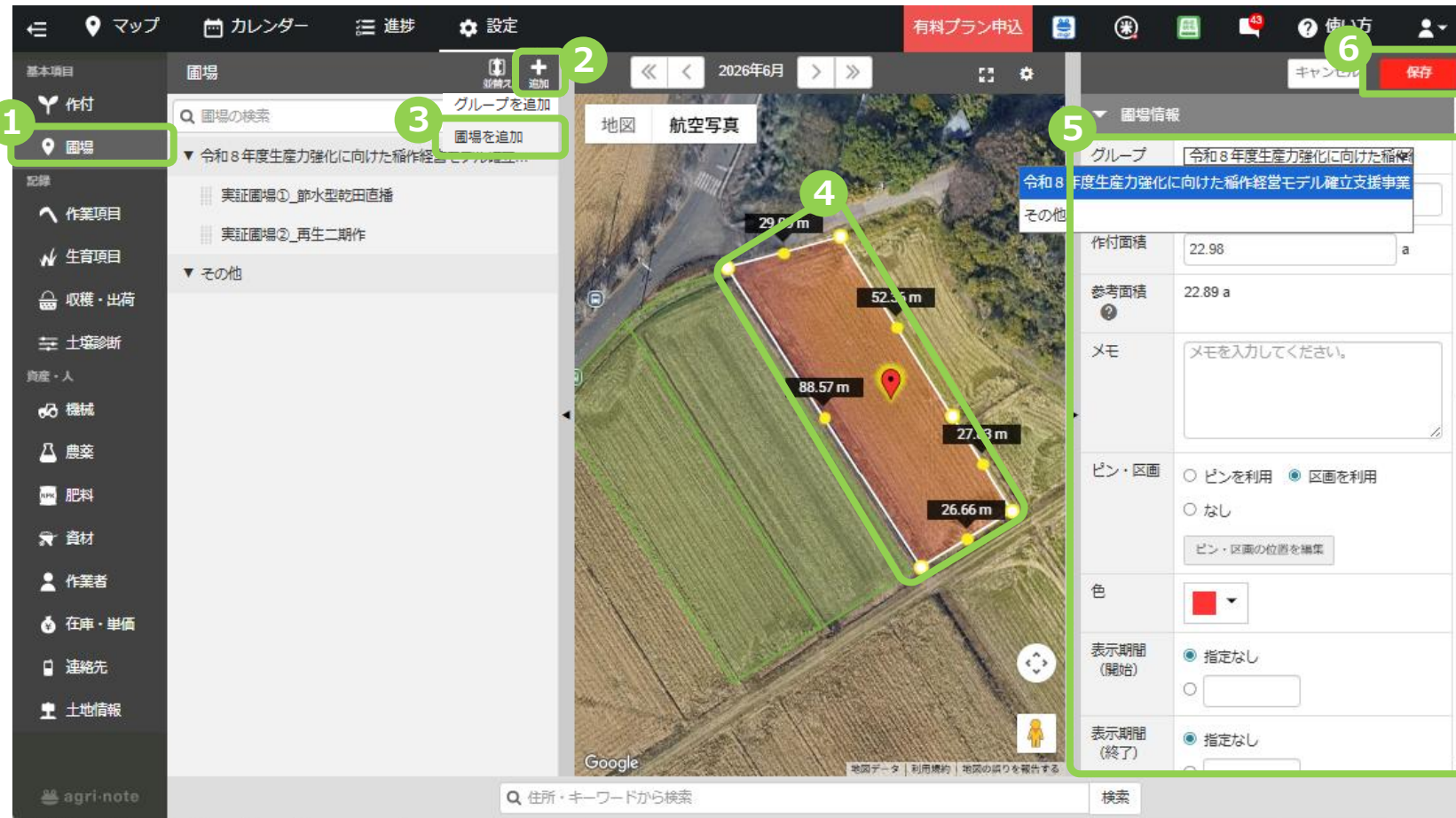


アグリノートの操作感	圃場・作付登録 P.9,10でご説明	機械・資材登録	作業記録 P.11でご説明	収穫・出荷記録 P.12でご説明	データ確認・出力
ブラウザ（PC）	◎	◎	○	◎	◎
アプリ（スマートフォン）	△	△	◎	○	—

◎：推奨操作、○：慣れればスムーズ、△：少しコツがいる

6. アグリノートの操作イメージ（初期登録について）

I 圃場登録 どこのおんぼかを登録



- ① 「設定」から「基本項目」→「圃場」を選択する
- ② 「追加」ボタンをクリックする
- ③ 「圃場を追加」をクリック
- ④ 圃場は、Google Map上で「ピン」または「区画」を使って登録
- ⑤ 圃場の所在地、面積、グループ等の必要情報を入力する
- ⑥ 入力後、必ず「保存」をクリックする

6. アグリノートの操作イメージ（初期登録について）

I 作付登録 何を作るかを登録



- ① 圃場登録後、「設定」から「基本項目」→「作付」を選択する
- ② 「追加」ボタンをクリック
- ③ 「作付を追加」をクリック
- ④ 作付情報入力画面で、「作付名」「作目」「圃場」を順に設定する
※作付名は、例：「にじのきらめき_R8」のように
品種・時期で登録すると識別しやすい
- ⑤ 必要に応じて栽培計画も入力する
- ⑥ 入力後、必ず「OK」または「保存」をクリックする

6. アグリノートの操作イメージ（作業記録について）

PC版 作業記録入力画面 記録 > 作業記録 > 新規入力

- ① 画面左のメニューの「記録する」から「作業記録」を選択
- ② 「種類」は「実績」を選択
- ③ 日付、作業項目、作付・圃場、作業者・時間入力
- ④ 必要に応じて使用した機械、農薬、肥料、資材などを入力

モバイルアプリ版 現場でその場で入力

- ① 「ホーム画面」の画面右下にある「+」マークをタップ
- ② 「種類」は「記録・実績」を選択
- ③ 日付、作業項目、作付・圃場、作業者・時間入力
- ④ 必要に応じて使用した機械、農薬、肥料、資材などを入力

6. アグリノート の操作イメージ (収量記録について)

PC版 収穫記録・収量入力画面 記録 > 収穫記録 > 新規入力

- ① 画面左のメニューの「記録する」から「収穫記録」を選択
- ② 日付、作付・圃場、計測タイミング・収穫データを入力
- ③ 必要に応じて収穫ロット番号、写真、メモなどを入力

モバイルアプリ版 現場でその場で入力

- ① 「ホーム画面」の画面右下にある「+」マークをタップ
- ② 日付、作付・圃場、計測タイミング・収穫データを入力
- ③ 必要に応じて収穫ロット番号、写真、メモなどを入力

7. 取組費の支払いについて

支払単価と支払時期・方法

支払単価（ほ場1枚あたり10a以上）

10万円（定額）



支払時期：後払い（令和9年2月～3月頃）

データ提出やサンプル送付が完了し、不備がないことを確認した後の支払いとなります。

支払方法：指定口座への振込

資機材費用等の経費として、データ等の提供を条件に支払われます。

支払対象について

● ① 1つの栽培条件に取り組む場合

ほ場3枚までを取組費の対象とします。

● ② 2つ以上の異なる栽培条件に取り組む場合

・ **異なる栽培条件**とは、**収量や生育に影響すると考えられる差異**（品種、作期、施肥量等における違い）が**明確にある各栽培条件**を指し、これらが存在する場合、**複数の栽培条件について応募可能**です。

・ **同一栽培条件においては、ほ場3枚まで**を取組費の対象とします。

● ③ 比較ほ場のデータを提出する場合（該当者のみ）

慣行の移植栽培や、通常の乾田直播も行っている場合は、各ほ場1枚について、比較ほ場としてデータ提出を条件に10万円を支払います。

※ ①、②について、応募者多数の場合等には、同一栽培条件のほ場において3枚ではなく1枚あるいは2枚のみを支払対象とする可能性がある点にご留意ください。（③については1枚のみ対象）

※ 選考の結果、全部または一部が不採択となる可能性がある点にご留意ください。

7. 取組費の支払いについて（お支払いのケース）

取組費お支払いの例

計算の考え方：「採択された対象ほ場数 × 10万円」が取組費の基本イメージ。条件が異なれば、条件ごとに分けて整理されます。

ケース① 条件A 1枚 + 比較ほ場1枚

対象技術で栽培するほ場1枚 + 比較ほ場1枚



支払対象：2枚

10万円 × 2枚 =

20万円

慣行移植栽培及び通常の乾田直播を行うほ場について、比較圃場としてデータ提出を条件に1枚あたり10万円を支払います。

ケース② 条件A 3枚

同じ栽培条件で、ほ場を3枚実施する場合



支払対象：3枚

10万円 × 3枚 =

30万円

△ 4枚あっても…



同じ条件のほ場は、最大3枚までが対象。

ケース③ 条件A 2枚 + 条件B 2枚

異なる栽培条件が2つある場合

条件A（例：品種A）



= 20万円

条件B（例：品種B）



= 20万円

(10万円 × 2枚) + (10万円 × 2枚) =

40万円

同じ技術でも、条件が異なれば条件A・条件Bとして分けて整理される場合があります。条件の違いは、選定審査時に応募内容を確認したうえで判断します。

注意事項

- ① 取組費は、データ提出・サンプル送付が完了し、不備がないことを確認した上でお支払いします。
- ② いずれの場合も、応募内容を選定審査の上で支払対象を決定しますので、全部または一部が不採択となる可能性があります。
- ③ 同一栽培条件のほ場は、最大3枚までが取組費の対象です。応募者多数の場合等においては、同一栽培条件における支払対象ほ場数が1～2枚に調整される場合があります。

8. 応募方法・スケジュール

▶ 公募期間と応募方法

📅 募集期間（第8条第1項より）

令和8年6月4日（木）～
6月30日（火） 17:00まで

厳守

📄 応募方法

原則として、専用の「**応募フォーム**」から申請すること。

【公募フォームへのアクセス方法】

- ① 公募ホームページへアクセス
- ② ページ内の「応募フォーム」欄を確認
- ③ 【節水型乾田直播】【再生二期作】【節水型乾田直播・再生二期作の両方】のいずれかに応じたフォームを選択し、必要事項を入力

【公募ホームページURL】



https://www.primal-biz.co.jp/news/info/seisanryoku_koubo.html

🗓️ 事業スケジュール

STEP 1

6月4日

公募開始

オンライン応募フォームより受付を開始。

STEP 2

6月30日(火)

公募締め切り

17:00厳守。余裕をもって申請してください。

STEP 3

7月上中旬

審査・通知

選定審査会を開催。採否はメールにて通知。

外部からの電子メールが受信できるよう、セキュリティ設定にご注意ください。

STEP 4

7月中旬以降

取組開始

データ記録開始。栽培開始まで遡って記入。

STEP 5

収穫後

データ提出等

全データ提出及び土壌・玄米サンプル送付。

STEP 6

R9年2～3月

取組費支払い

不備がないことを確認後、指定口座へ振込（後払い）。

選定方法と審査基準

✔ 主な審査基準（第7条より）

- 栽培方式、ほ場条件等が**本効果の検証に適しているか。**
- **データの信頼性**や**事業実施の確実性**が確保されているか。

等

⚠ 注意事項（第9条より）

虚偽の申請、データの不備や未提出、その他の義務違反があった場合は、**採択の取消、取組費の不払い、または返還**を求めることがあります。

お問合せ・相談窓口

事業内容や応募方法について、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せください。

プライマル株式会社（事業実施主体）

担当者：土井（どい）、浦元（うらもと）

メール：rice_lowcost_p@primal-biz.co.jp

 **土井：080-8746-8765**
浦元：080-7823-5748

よくあるご質問・FAQ

応募前に確認されやすい論点を、6つのカテゴリに整理しています。
詳細な運用・提出方法は、採択後の案内資料にて改めてご案内します。

事業・参加要件

対象者／ほ場条件／比較ほ場

応募・審査

応募方法／締切／採否通知

取組費

単価／上限／支払時期

記録・データ

記録項目／データ利用／個人情報
報

サンプル・確認

土壌・玄米サンプル／ヒアリング

その他

辞退／問合せ／書類保管

重要：応募内容に虚偽がある場合、データ不備・サンプル未送付等がある場合は、採択取消や取組費不払い等の可能性があります。

事業全体・参加要件

Q 複数ほ場・比較ほ場で応募できますか？

対象技術については複数ほ場で応募可能です。通常の移植栽培等を行う場合は、比較データとして各ほ場1枚の提出をお願いする場合があります。

Q 採択数に上限はありますか？

応募内容を精査し、予算の範囲内で選定するため、全部又は一部不採択となる可能性があります。また、応募者多数の場合等は、3枚まで応募可能な同一条件下のほ場についても、支払対象数を調整する場合があります。

Q 異なる栽培条件が多い場合の応募方法は？

応募する栽培条件が5つ以下の場合、1回のフォーム入力で申請頂けます。なお、6つ以上の栽培条件がある場合は、新しくフォームにアクセスして頂き、入力をお願いします。

Q 異なる栽培条件の定義は？

収量や生育に影響すると考えられる差異(例：品種、作期、施肥量、水管理、雑草管理等における違い)が明確にある場合を想定しています。なお、異なる栽培条件に当てはまるかどうかは、事業実施主体が設置する選定審査委員会で確認致します。

Q 誰に応募できますか？

日本国内で、対象技術を用いて食用米を栽培する生産者(農業経営体)に応募できます。

Q 個人農家・法人・任意組織でも応募できますか？

本事業では、応募要件を満たす「生産者(農業経営体)」を対象としているため、個人農家、農業法人、任意組織のいずれの形態でも応募いただけます。

Q 対象ほ場の条件はありますか？

1枚あたり10a以上のほ場で、対象技術を用いて食用米を栽培することが条件です。

応募方法・審査・採択

Q 応募はどのように行いますか？

原則として、専用のオンライン応募フォームから必要事項を入力して申請します。[【公募情報】農林水産省補助事業「令和8年度 生産力強化に向けた稲作経営モデル確立支援事業のうち稲作の超低コスト生産確立事業のうち新技術現地検証タイプ」に係る検証農家募集のお知らせ](#) | [新規事業コンサルティング:プライマル株式会社](#)

Q 紙での提出は必要ですか？

原則オンライン申請です。入力が難しい場合は、問合せ先にご相談ください。

Q 応募期限はいつですか？

令和8年6月30日(火)17:00締切です。

Q 採択結果はいつ・どのように分かりますか？

7月上中旬に選定審査会を開催し、応募時のメールアドレス宛に採否を通知します。

Q 審査では何を見られますか？

対象技術と所在地等の適合性、栽培方式の実現可能性、信頼性の高いデータの確保可能性、事業実施の確実性などを総合的に審査いたします。

取組費の支払い

Q 取組費はいくら支払われますか？

ほ場1枚(10a以上)あたり10万円の定額です。

Q 取組費はいつ支払われますか？

令和9年2月～3月頃の支払いを予定しています。

Q 提出物に不備があった場合は？

不備がある場合は、確認・修正完了まで支払いが行われない可能性があります。

Q 支払対象のほ場数に上限はありますか？

異なる栽培条件が存在する場合は、複数の栽培条件について応募可能です。同じ栽培条件では、支払対象は最大3枚までです。応募状況等により、支払対象枚数が調整される場合があります。

記録・データ

Q どのようなデータを記録しますか？

ほ場情報や品種等の基本項目、日々の作業内容・時間、費用記録、生育・水管理・施肥・防除・収量等を記録・提出いただきます。

Q アグリノートの利用は必須ですか？

営農記録ツール(アグリノート等)を活用して記録・提出いただきます。なお、記録に必要なツール・様式について、生産者の皆様に追加費用をご負担いただく想定はありません。

Q 別の営農管理ソフトを使っている場合は？

既に他の農作業管理ソフト等で記録している場合は、採択後に個別に確認します。必要に応じて、記録済みデータの移行等を支援する場合があります。

Q 既にアグリノートを利用している場合、現在のアカウントをそのまま利用できますか？

既にアグリノートをご利用中の場合でも、本事業では原則として、本事業用アカウントをご利用いただきます。情報管理および誤操作防止の観点から、本事業用アカウントでの運用をお願いいたします。

Q 記録したデータは何に使われますか？

経営効果・技術効果の検証、研究、行政機関等への共有・活用のため使用します。

Q 個人名や経営情報は公開されますか？

個人名など、個人・経営体を明示する形での公表は想定していません。

Q 関連書類の保管は必要ですか？

記録データ等の控えは、事業終了後も一定期間(5年間)保管をお願いします。

サンプル提出・説明会・現地確認

Q 土壌サンプルの提出は必要ですか？

指定された検証ほ場の土壌を500g程度採取し、所定の場所へ送付いただきます。

Q 玄米サンプルの提出は必要ですか？

指定された検証ほ場で収穫した玄米を1～5kg程度収集し、所定の場所へ送付いただきます。

Q 採択後の説明会への参加は必要ですか？

採択後の具体的な手続き・記録方法をご案内するため、説明会参加をお願いする予定です。

Q 現地確認はありますか？

必要に応じて、記録内容や営農に関するヒアリング・現地確認を行います。

Q 電話やWeb会議でのヒアリングはありますか？

メール、電話、Web会議、訪問等により、営農内容や記録内容を確認する場合があります。

Q 土壌センサーの費用は自費ですか？

当方にて土壌センサーおよびマニュアルをご用意いたします。設置につきましては、マニュアルの内容をもとに、当方も同行・サポートのうえ対応させていただく想定です。

その他・問い合わせ

Q 応募内容に虚偽があった場合は？

採択取消、取組費の不払い・返還等の可能性があります。

Q 参加・提出に不安がある場合は？

応募フォーム入力や記録方法に不安がある場合も、プライマル株式会社(事業実施主体)までご相談ください。

Q 問合せ先はどこですか？

プライマル株式会社(事業実施主体)までお問い合わせください。メール:rice_lowcost_p@primal-biz.co.jp